# 令和７年度 県土整備部幹部職員の紹介

## ■ 県土整備部長　上澤 和哉（かみさわ かずや）

県土整備部の仕事は、県民や地域の想いや願いを社会資本の整備や維持・管理を通じて具現化する大切な仕事です。2025年の干支である「乙巳」にならい、襲来する危機や新たな変化に対して粘り強くかつ柔軟に対応しながら、蛇のように脱皮し成長する年にしたいと思います。

「一人ひとりが主人公、果敢に行動を！」を念頭に置き、業務に取り組んでいきます。

基本は、心身の健康。還暦を迎える私自身は、仕事のオン・オフを切り替え、週末には、気持ちの良い汗を流せるよう適度な運動に励みます。

本年度も、よろしくお願いいたします。

## ■ 技監兼河川港湾担当技監　岩﨑 等（いわさき ひとし）

昨年度に引き続き、建設技術振興、河川、砂防災害、港湾空港を担当します。これらの事業は、暮らしの安全・安心や地域経済の成長に直結し、岩手県の幸福度を高めるために欠かせないものと改めて感じています。

人口減少など複雑で難解な課題に直面する今こそ、高い志と自由な発想で、チャレンジすることが求められます。心と体の健康を大切にしながら、県土整備部「一岩（いちがん）」となって邁進していきましょう。

## ■ 副部長兼県土整備企画室長　加藤 真司（かとう しんじ）

県土整備部２年目です。「２年」にまつわる言葉は、「２年目のジンクス」「２年目の壁」「中２病」と、慣れや停滞、独りよがりといったネガティブなものが多い気がしますが、見方を変えると、新たな可能性への扉や自立への試行錯誤といった具合に前向きに捉えることもできます。

前向きな気持ちを失わずに、見逃し三振よりも空振り三振。失敗を恐れず、『果敢に行動を！』大切にしていきます。

## ■ 道路担当技監　小野寺 淳（おのでら あつし）

４月から道路担当技監として、引き続き道路行政を担当いたします。

市町村要望の約３割が道路整備への要望ですが、地域の声に少しでも応えられるよう、安全・安心を支え、産業や観光振興の基盤となる道路整備の推進と、生活を支える道路施設の良好な維持管理に向けて、その職責をしっかりと果たしていきたいと思います。

風通しの良い職場環境のもと、健康第一、明るく業務に取り組みたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

## ■ まちづくり担当技監　小野寺 哲志（おのでら さとし）

本年度も、まちづくり担当技監として都市計画、下水道、建築住宅を担当します。引き続き、岩手県で暮らし、働く方々が幸せを感じてもらえるよう取り組んでいきたいと思います。私たちを取り巻く社会環境が刻一刻と変化するなかで、それらに柔軟に対応するとともに、将来を想像しながらポジティブな考えで業務に向き合います。

みんなが健康とワークライフバランスの実現を図りながら、明るく、楽しく、前向きに業務に取り組めるよう一緒に走ります。よろしくお願いいたします。